

# がん化学療法看護とは??

## ～分野説明～

抗がん剤治療を受ける患者さん・ご家族が、自分らしい生活を大切にしながら、治療を決定し継続していくための看護を提供します。

## ～コンサルテーション例～

抗がん剤治療の基礎	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規に導入される抗がん剤や治療について</li><li>・分子標的治療薬について</li><li>・抗がん剤の投与管理の方法</li><li>・抗がん剤の医療者への毒性</li></ul> など
抗がん剤治療に伴う緊急時の対処法	<ul style="list-style-type: none"><li>・抗がん剤による過敏症</li><li>・抗がん剤の血管外漏出</li></ul> など
抗がん剤の副作用対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・抗がん剤ごとの副作用の特徴</li><li>・副作用対策（骨髄抑制・悪心/嘔吐・便秘/下痢・脱毛・皮膚障害・口内炎・神経障害 など）</li></ul>
中心静脈ポートを使った抗がん剤投与	<ul style="list-style-type: none"><li>・中心静脈ポートのとりあつかい</li><li>・インフューザーポンプのとりあつかい</li><li>・トラブル発生時の対処法</li></ul> など
その他	<ul style="list-style-type: none"><li>・患者さんへの説明のしかた</li><li>・抗がん剤に不安を抱える患者さんへの対応</li><li>・治療費について</li></ul> など

このほかニーズに合わせた研修会なども可能です。  
現場でお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

# がん化学療法看護認定看護師 役割と活動内容

## ● 役割

- 実践**
- ・がん化学療法看護の役割モデルとして、抗がん剤の投与、管理を安全に実践する。
  - ・多職種と共働して抗がん剤の副作用対策を適切に実施し、患者の生活の質を保つ。
  - ・がん化学療法を受ける患者、家族が十分で適切な情報のもとに意思決定できるように支援する。
- 指導**
- ・OJT や教育プログラム、研修を通してがん化学療法看護に携わるスタッフの指導に当たる。
- 相談**
- ・相談を通して、スタッフの問題解決能力の向上を図る。

## ● 活動内容

### 1) 実践

- ・所属部署において抗がん剤の安全な取り扱い、投与管理を実践し、スタッフの役割モデルとなる。
- ・がん化学療法看護基準の作成を通して、院内のがん化学療法看護の質の標準化を図る。
- ・関連する多職種と患者に関するカンファレンスを実施し、副作用対策を適切に実施する。
- ・患者、家族の副作用に対するマネジメント能力を高められるように看護援助を行う。
- ・がん化学療法を受ける患者、家族の意思決定支援を実施する。
- ・関連学会や研修会への参加、がん化学療法看護に関する講義の実施等を通して、がん化学療法看護の専門知識、技術、またプレゼンテーション能力の向上を図る。

### 2) 指導

- ・所属部署での看護実践を通して役割モデルを示し、スタッフに対して具体的な指導を行う。
- ・定期的に院内のがん化学療法看護リンクナースのミーティングを実施し、リンクナースが所属部署におけるがん化学療法看護の役割モデルをとれるように教育的支援を実施する。
- ・院内外のがん化学療法看護に関する勉強会や講演依頼を受け、依頼に応じた指導に当たる。

### 3) 相談

- ・病棟ラウンドにより、スタッフからのがん化学療法看護に関する相談に直接応じる。
- ・がん化学療法看護リンクナースを通して、がん化学療法看護に関する情報収集とスタッフの問題解決支援を行う。
- ・院外のがん化学療法に携わる看護師や多職種からの相談に応じる。
- ・コンサルテーション依頼用紙を定型化し、相談内容や件数を自己評価、報告できるようにする。